

令和2年6月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和2年6月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和2年6月25日（木） 13時30分～16時40分
川西庁舎 1階 地域活動室

2 出席

蔵品泰治教育長、佐藤美佐子委員、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（金澤克夫）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長補佐（樋口具範）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：浅田委員、佐藤委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

・資料のとおり

② 報告第1号 十日町市修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の制定について

蔵品教育長

・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

・資料に基づき説明

蔵品教育長

・実際には、修学旅行キャンセル料はいくらになるのか。

山本学校教育課長

・2月と3月の修学旅行を延期した学校のうち、3校で17万円程度である。これについて、補助金を交付するということである。

庭野委員

・修学旅行は、これから実施するのか。

山本学校教育課長

・今のところ全ての中学校が、9月から11月に3年生の修学旅行を計画している。行先の変更を含め検討しており、現状では実施する方向である。

庭野委員

・小学校は、どうなるのか。

山本学校教育課長

- ・小学校も9月から11月に実施を予定している。行き先はほとんどが佐渡である。東京方面の行先を長野方面に変更して実施する学校もある。

(以上の質疑のあと了承された)

② 報告第2号 十日町市学校臨時休業対策費補助金交付要綱の制定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

蔵品教育長

- ・学校の臨時休業で、給食の食材納入業者に約700万円の損失が出たということで、補助する。財源は国の交付金を充てることになる。

浅田委員

- ・要綱に期限があるのはなぜか。

樋口子育て教育部長

- ・この補助金については、国の地方創生臨時交付金を充てて補助金交付できるようになり、その根拠として要綱を定めたものである。第2条に令和2年3月2日から学年末休業の開始日3月25日までの間に休止となった給食にかかるものと限定されていることから、来年度以降にこの補助事業の対象はないため、今年度末で効力を失う。事業が終わっても要綱だけ残ることのないように期限を定めている。

(以上の質疑のあと了承された)

③ 報告第3号 十日町市奨学金自宅外通学者応援給付金事業実施要項の制定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

(3) 協議事項

① 第二次十日町市総合計画後期基本計画の施策シート(案)について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料No.6に基づき説明

廣田委員

- ・目標値について、若い教員はタブレット端末を活用できる能力があり、学校では早く配備されるよう待っているようだ。

庭野委員

- ・新型コロナウイルス感染症について考え、都会から地方へ人が流れることが考えられる。十日町市にも人を呼び込むような政策ができないものか。

蔵品教育長

- ・市全体では、ポストコロナの時代を見据えており、テレワークでも仕事ができるということから、教育分野だけでなく、産業分野でもこの総合計画の中で取組を計画している。

富井教育総務課長

- ・資料No.7に基づき説明

庭野委員

- ・高等学校に対する具体的な支援を取組まないと若者の確保は難しいのではないか。

富井教育総務課長

- ・教育総務課の事業ではないが、まちの産業発見塾という事業では、高校生に市内の企業を紹介し、就職先として意識してもらい、地元就職することにつながるような取組もある。

廣田委員

- ・奨学金の返還を軽減する施策は実現できそうなのか。

富井教育総務課長

- ・他の自治体では実施されていることから、これから研究して実施に向け検討する。

山本学校教育課長

- ・資料No.4に基づき説明

庭野委員

- ・教員は、授業での時間の使い方を考えているのかどうか。授業力向上の中身をよく考えて指導してほしい。

山本学校教育課長

- ・実際に研修する内容としては検討したい。施策としてそこまで記載できないことをご理解いただきたい。

浅田委員

- ・いじめは、学校で起こった結果であり、原因は育ってきた家庭の環境も影響する。家庭に踏み込んで対応することがあると思うが、教員ひとりではなく他の教員も一緒に対応するよう望む。

山本学校教育課長

- 学校では、初期対応でも解決に向けた対応でも、組織で対応する体制を組んでいる。学校の組織としての対応力を高めて、学校外の機関と連携しながら解決に向けて対応する。

廣田委員

- マニュアルの整備とあるが、すでに整備されているのではないかと思う。目標値については、詳しい注釈が必要ではないか。

山本学校教育課長

- 十日町市版のいじめ・不登校に関するマニュアルは作ってあるが、不断の見直しを図るという意味での整備である。目標値については、説明が必要だと思うので検討する。

山本学校教育課長

- 資料No.5に基づき説明

庭野委員

- 英語教育については、子どもたちが、自分のことや十日町市のこと、新潟県のこと、日本のことを発信できることが大事である。英語が話せるだけでなく、内容をしっかりと持ってコミュニケーションができないと力にならない。

山本学校教育課長

- 中学生が、大地の芸術祭で英語ボランティアガイドを行った際には、作品についての理解や地域の文化などを英語で紹介するようトレーニングしていた。

浅田委員

- 英語に関しては初めが大事だと思う。面白いと思えば学びたいという意欲が湧く。英語に触れる時期が早くなってきたが、小学生は楽しんでやってほしい。

佐藤委員

- 英語の学力があっても話すことが難しい。まつのやま学園の子どもたちは、スラスラと英語が出てくる。興味のあることで構わないので、英語で話すことが大事である。色々な情報が入ってくるようになり、選択肢を増やすようにキャリア教育を推進してほしい。

山本学校教育課長

- 小学生からキャリア教育に取り組んでいる。中学生では、職業を意識して職場体験するなど、継続してキャリア教育を取組むキャリアパスポートというものもある。

庭野委員

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響後の動きが雑誌などに出てきているが、十日町市としての対応についての項目を新たに作っても良いのではないか。

蔵品教育長

- ウィズコロナやポストコロナという考えを入れながら、他の部署でも施策を検討しているが、只今の意見を担当課に伝える。

廣田委員

- ・回答は要らないが、ふるさと十日町市を愛する活動の充実の施策に、市の生涯学習施設、情報館、博物館などを活用するという観点を入れることができないのか、検討いただきたいという要望である。

樋口生涯学習課長補佐

- ・資料No.25・26に基づき説明

廣田委員

- ・文化芸術団体の組織運営が難しくなっているというのはその通りで、団体会員が高齢化して若い人たちが入って来ない。若い人たちは別のことをやっており、志向が変わってきたということだと思う。今ある団体の後継者育成の支援も大事だが、若い人が何らかの生涯学習の活動をするよう、行政として支援することも大事だと思う。

庭野委員

- ・市展では写真が多い。新しい分野としてアニメなどを入れると若い人が参加するのではないか。

樋口生涯学習課長補佐

- ・市展は運営委員会に各団体の代表から入っていただいているため、新しい分野に対しての取組は難しいと思う。

金澤文化スポーツ部長

- ・市が実施するだけではなく、範囲を広げて若手の発表する場を増やすなど、自由に気楽に発表できるという観点で、色々と考えていきたいと思う。市展のジャンルにアニメなどを入れるのは、検討する時間をいただきたい。

佐藤委員

- ・各地区の公民館では、文化祭で作品を展示している。それを段十ろうに集めて展示すれば、行ったことがない人も見に来たりするのではないか。また、試しに地区公民館の活動をバスで連れてきて、段十ろうで行うと利用が活性化するのではないか。

蔵品教育長

- ・アンケートでは、段十ろうにまだ行ったことがないという方が多いことから、考えてみても良いだろう。

浅田委員

- ・まちなか文化祭というイベントが、高校生の参加で盛り上がったので、ぜひ継続してほしい。

佐野文化財課長

- ・資料No.27に基づき説明

庭野委員

- ・日本遺産に認定という新聞をみたが、3年前に申請するという話があったと思う。

それだけの年数が掛かったということか。

佐野文化財課長

- ・日本遺産に申請するために、歴史文化基本構想を作る必要があった。その策定に2年半かかり、それから申請して3年かかった。さらに、文化財保存活用地域計画をまとめ、文化財の保存と活用のバランスをとるということである。

庭野委員

- ・昔の雪国文化が無くなってきている。イベントなどで雪国文化を復活させることが必要ではないか。

蔵品教育長

- ・博物館友の会などと一緒にこれからの活動を考えていきたい。

佐野文化財課長

- ・今まで博物館には、雪国文化を残す映像が無かったが、今の博物館には写真や動画などの昔の景色などを残している。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料No.28に基づき説明

廣田委員

- ・雪がない異常な年を現状に載せるのなら、前年の数値の方が良いのではないか。

庭野スポーツ振興課長

- ・作成に当たっての現状値は、令和元年度の実績と決まっていたためにこのようにしたが、意見は参考にさせていただく。

蔵品教育長

- ・参考として平成30年度の数値を加えてはどうか。

庭野委員

- ・市では以前からスポーツが盛んで、笹山野球場でプロ野球や名球会が試合をしたこともあった。最近は体育施設が老朽化するなど、財政が厳しい中でどうなるのか。

庭野スポーツ振興課長

- ・笹山野球場も建設された当時は、周辺にはない芝を張った施設であった。その後各地に野球場が新たに建設されて、笹山野球場が使用されなくなってきた。また、老朽化だけではなく、施設のグレードが他の野球場に比べると見劣りするよう感じる。ある程度の規模の大会には、駐車場や周辺施設などが不足するために開催が難しい状況がある。

佐藤委員

- ・スポーツを継続する人が少なくなっているが、高齢になってからスポーツを楽しもうとする人がいるので、施設を維持して長く楽しめるようにしてほしい。

(4) 議決事項

① 議案第1号 十日町市指定文化財の指定諮問について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

佐野文化財課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・こういう分野は一般の市民にはよくわからないと思うが、十日町市には専門家がいるのか。

佐野文化財課長

- ・文化財保護審議会の委員の中に専門家がいる。

庭野委員

- ・そういう専門家の説明を聞くと良くわかる。市民にも文章などで分かりやすく説明していただくことができれば有り難い。

佐野文化財課長

- ・博物館講座にこの件を取り上げて、市民に向けて説明させていただきたい。

(以上の質疑のあと決定した)

5 その他

① 最近の動きについて

- ・各部長、各課長等が資料に基づき説明

② 7月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

③ 次回の教育委員会の開催日時

- ・7月定例会 7月27日(月) 15時30分から開催することを確認した。

以上で、16時40分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記